



オカモト株式会社 決算説明

2026年5月29日(金)

目次

- 1 : 2026年3月期 決算概要
- 2 : セグメント別概況
- 3 : 株主還元
- 4 : キャピタルアロケーション
- 5 : 対処すべき課題
- 6 : 2027年3月期 業績予想
- 7 : 質疑応答

- 1 : 2026年3月期 決算概要
- 2 : セグメント別概況
- 3 : 株主還元
- 4 : キャピタルアロケーション
- 5 : 対処すべき課題
- 6 : 2027年3月期 業績予想
- 7 : 質疑応答



決算ハイライト

- ・2026年3月期 連結業績(通期)

売上高1,080億円(前年比▲1.0%)、営業利益62億円(前年比▲28.2%)、
経常利益85億円(前年比▲12.0%)、当期利益49億円(前年比▲27.3%)

- ・2026年3月期 連結業績予想と実績値との差異(通期)

売上高 -10億円(▲0.9%)、営業利益 +5億円(+8.7%)、
経常利益 +15億円(+21.4%)、当期利益 +6億円(+13.9%)



決算ハイライト

- 自動車内装材は、国内順調も北米では採用車種の減産及び新規車種の量産立ち上げ中止による売上及び利益の減少。
- コンドームは国内はインバウンド減少、海外も中国景気低迷にて売上及び利益の減少。
- 難燃剤(アンチモン)の高騰による利益減少(主に車輻内装材)。



決算ハイライト

- 自己株式取得の実施

取得株数256,792株、13億円の実施(発行済み株式総数の1.5%)

- 政策保有株式の売却

①当社保有上場34銘柄のうち、1銘柄の売却実施

②子会社保有上場1銘柄の売却実施

- 新基幹システム導入により、原材料調達、生産及び在庫管理効率化

- 岡山新工場竣工と一部工場の省人化設備導入等の成長投資

岡山工場全景（岡山県井原市）



業績の概要

単位：百万円	2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	前年同期比	%
売上高	109,107	108,040	△1,066	△1.0
売上原価	85,193	86,256	1,062	1.2
売上総利益	23,913	21,784	△2,129	△8.9
販売費及び一般管理費	15,212	15,536	324	2.1
営業利益	8,701	6,248	△2,453	△28.2
営業外損益	1,063	2,346	1,284	120.7
経常利益	9,764	8,595	△1,169	△12.0

○販売費及び一般管理費⇒主に運賃及び荷造費226百万円減少、減価償却費567百万円増加

○営業外収益⇒「受取配当金」231百万円増加、「為替差益」322百万円増加

○営業外費用⇒「為替差損」436百万円減少、「公開買付費用」148百万円減少

業績の概要

単位：百万円	2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	前年同期比	%
特別損益	△43	△1,594	△1,551	3578.9
税金等調整前当期利益	9,721	7,001	△2,720	△28.0
税金費用	3,016	2,140	△876	△29.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,674	4,855	△1,820	△27.3
平均為替レート（ドル）	152.89円	150.13円	△2.76円	△1.8

○特別利益⇒「投資有価証券売却益」1,142百万円減少

○特別損失⇒「減損損失」591百万円増加、「投資有価証券売却損」189百万円減少

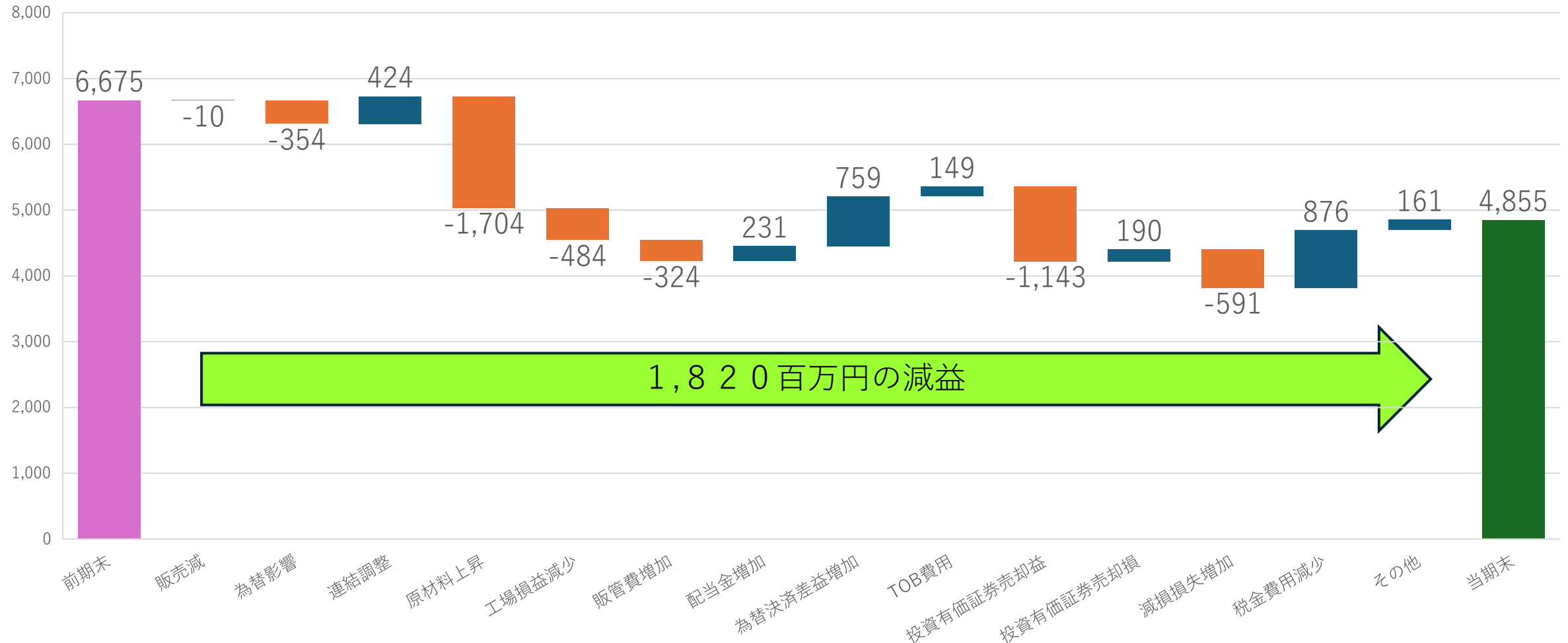
○税金費用⇒「法人税等合計」875百万円減少

前年同期との比較

利益増減要因別分析

当期純利益の前年同期比増減、
△1,820百万円の内訳

単位：百万円



連結貸借対照表(概要)

単位：百万円	2025年3月31日	2026年3月31日	増減
<資産の部>			
流動資産合計	89,348	81,918	△7,430
有形固定資産	21,818	25,048	3,229
無形固定資産	2,569	2,265	△304
投資その他の資産	32,397	54,935	22,538
固定資産合計	56,785	82,249	25,463
資産合計	146,134	164,167	18,033

- 流動資産 ⇒ 現金及び預金7,065百万円減少、受取手形786百万円減少、電子記録債権388百万円増加、売掛金655百万円増加、たな卸資産全体545百万円減少。
- 固定資産 ⇒ 有形固定資産3,229百万円増加、投資有価証券23,447百万円増加（主に株価上昇による）、長期性預金800百万円減少。

連結貸借対照表(概要)

単位：百万円	2025年3月31日	2026年3月31日	増減
<負債の部>			
流動負債合計	36,945	33,672	△3,272
固定負債合計	14,724	19,863	5,138
負債合計	51,669	53,536	1,866

- 流動負債⇒支払手形及び買掛金2,373百万円減少、電子記録債務684百万円減少、短期借入金794百万円増加、未払法人税608百万円減少、その他416百万円減少。
- 固定負債⇒長期借入金914百万円減少、繰延税金負債6,803百万円増加、退職給付に係る負債681百万円減少。

連結貸借対照表(概要)

単位：百万円	2025年3月31日	2026年3月31日	増減
<純資産の部>			
株主資本合計	70,519	72,055	1,536
その他の包括利益累計額合計	23,837	38,458	14,621
非支配株主持分	107	117	10
純資産合計	94,464	110,631	16,166
負債純資産合計	146,134	164,167	18,034
自己資本比率	64.6%	67.3%	2.7%

○その他の包括利益累計額合計

⇒ その他有価証券評価差額金14,019百万円増加、為替換算調整勘定434百万円増加。

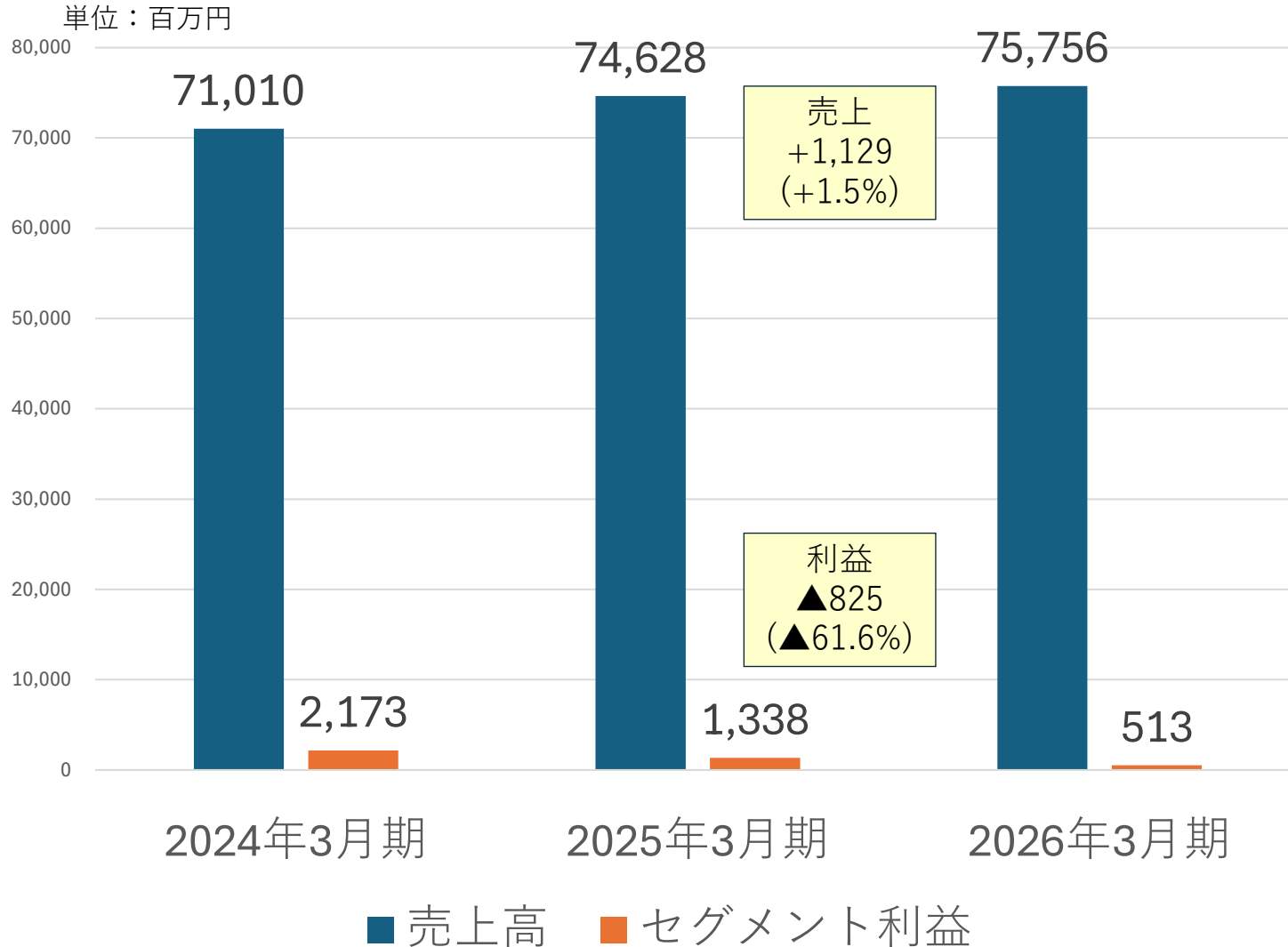
財務指標

	2025年3月期 期末	2026年3月期 期末
EPS(1株当たり純利益)	383.35円	282.84円
PBR(株価純資産倍率)	0.9倍	0.9倍
ROE(自己資本当期純利益率)	7.3%	4.7%
ROA(総資産利益率)	6.7%	5.5%
自己資本比率	64.6%	67.3%
PER(株価収益率)	13.2倍	21.0倍
(参考)		
オカモト株価期末終値	5,060円	5,930円
日経平均株価期末終値	35,617円	51,064円

- 1 : 2026年3月期 決算概要
- 2 : **セグメント別概況**
- 3 : 株主還元
- 4 : キャピタルアロケーション
- 5 : 対処すべき課題
- 6 : 2027年3月期 業績予想
- 7 : 質疑応答

セグメント別(事業)売上高・利益の推移

【産業用製品】



■ 売上高

- ・ 前年比 + 1,129 百万円
- ・ 前年比 + 1.5%

⇒ 車輦内装材で販売減少あるも、主に一般フィルム、建材用フィルム、多層フィルム、農業用フィルム、食品包装資材、粘着テープの販売増による売上増。

■ セグメント利益

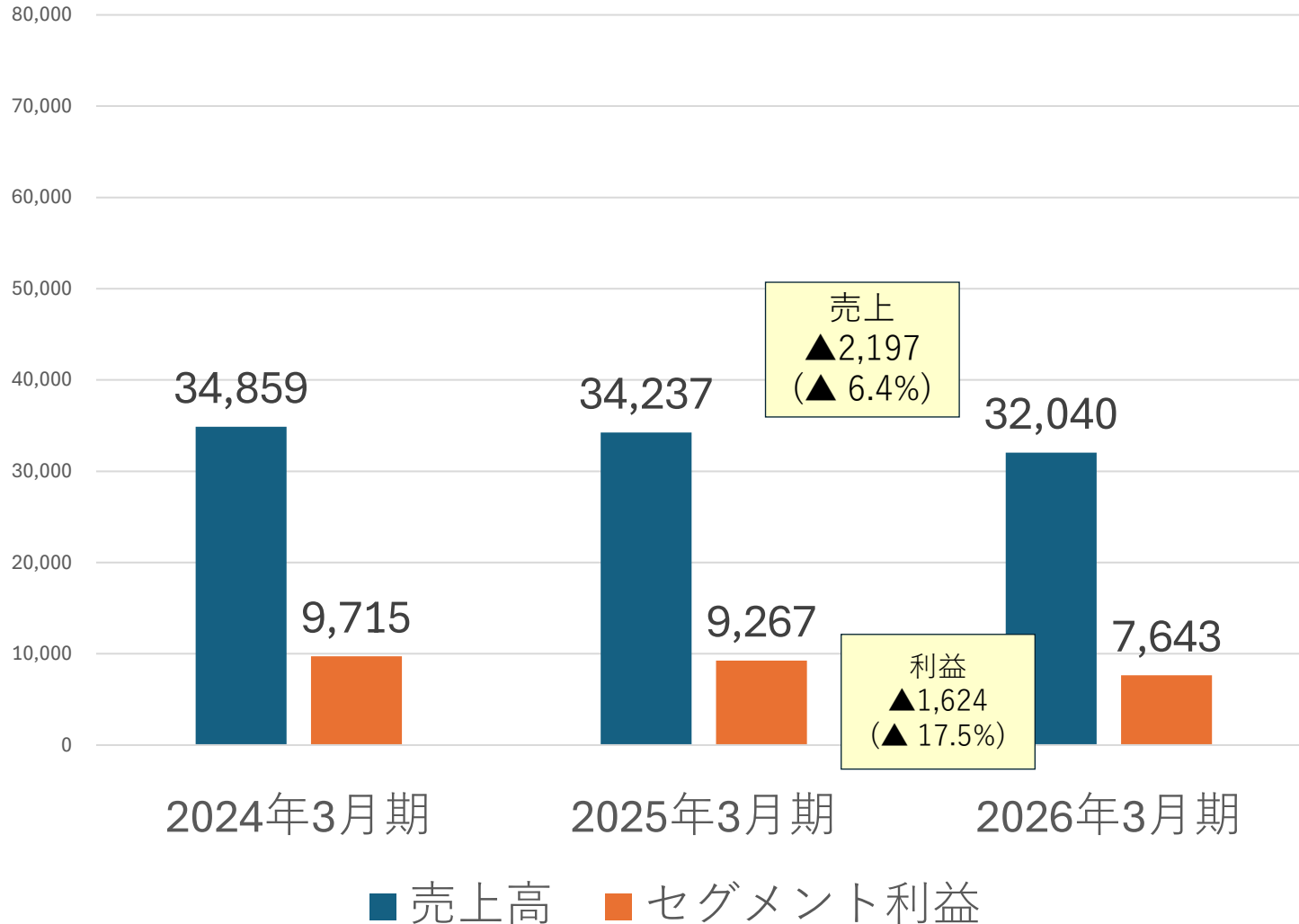
- ・ 前年比 ▲ 825 百万円
- ・ 前年比 ▲ 61.6%

⇒ 売上増加部門が利益貢献するも、原材料高（特に難燃剤高騰）の影響により利益大きく減少。

セグメント別(事業)売上高・利益の推移

【生活用品】

単位：百万円



■ 売上高

- ・ 前年比▲2,197百万円
- ・ 前年比▲6.4%

⇒ 国内のコンドームはインバウンド減少による売上減少、海外のコンドームは中国景気後退による影響大きく、大幅に売上減少。

■ セグメント利益

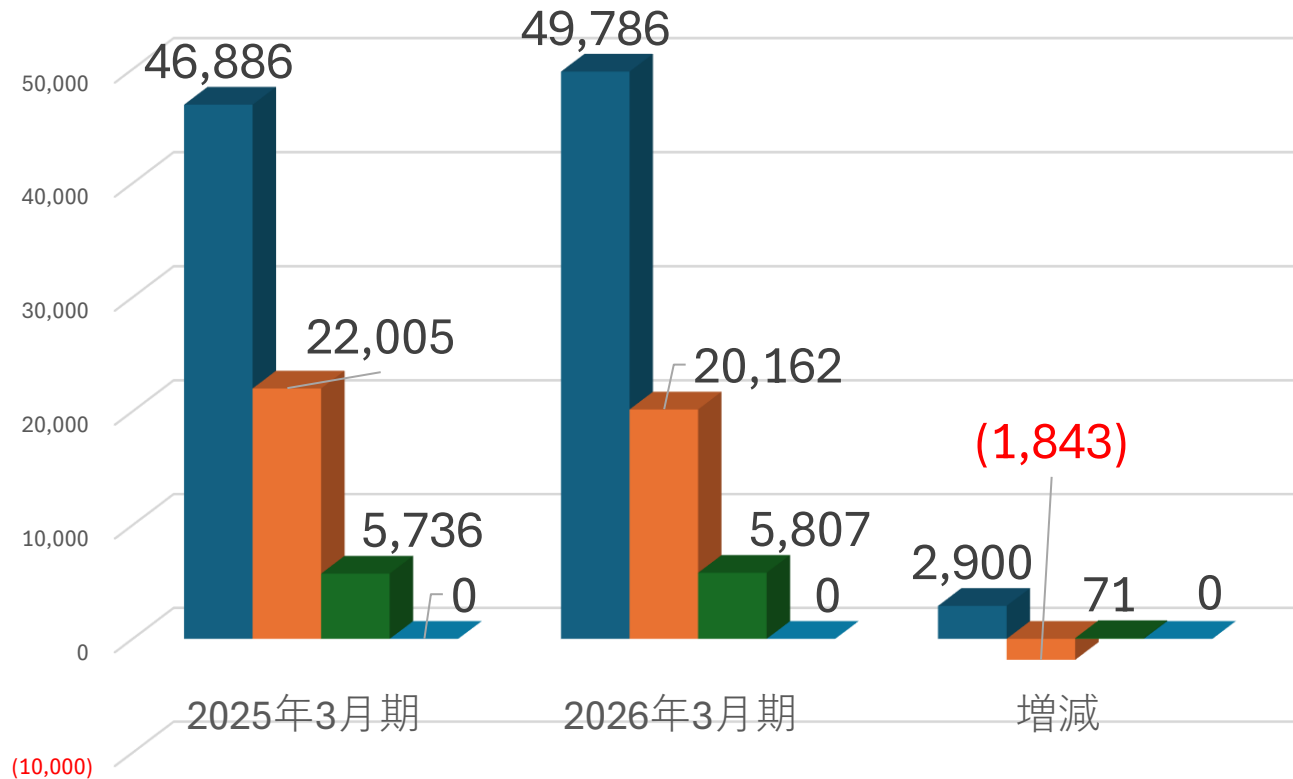
- ・ 前年比▲1,624百万円
- ・ 前年比▲17.5%

⇒ 国内及び中国でのコンドーム販売の減少による利益減少

地域別・事業別売上高

地域別売上高増減（産業）

単位：百万円



国内売上高（前年比+6.2%）

- ◆農業資材にて高付加価値品伸長による増加
- ◆自動車内装材は国内では受注増
- ◆フィルムは他社品取り込み他により受注増
- ◆壁紙は住宅着工減少継続で減少
- ◆研磨布紙等は半導体向けとO A 器材部材の需要減で減少

北米売上高（前年比▲8.4%）

- ◆自動車内装材は北米減産及び新規車種立ち上げ中止により減少

アジア売上高（前年比+1.2%）

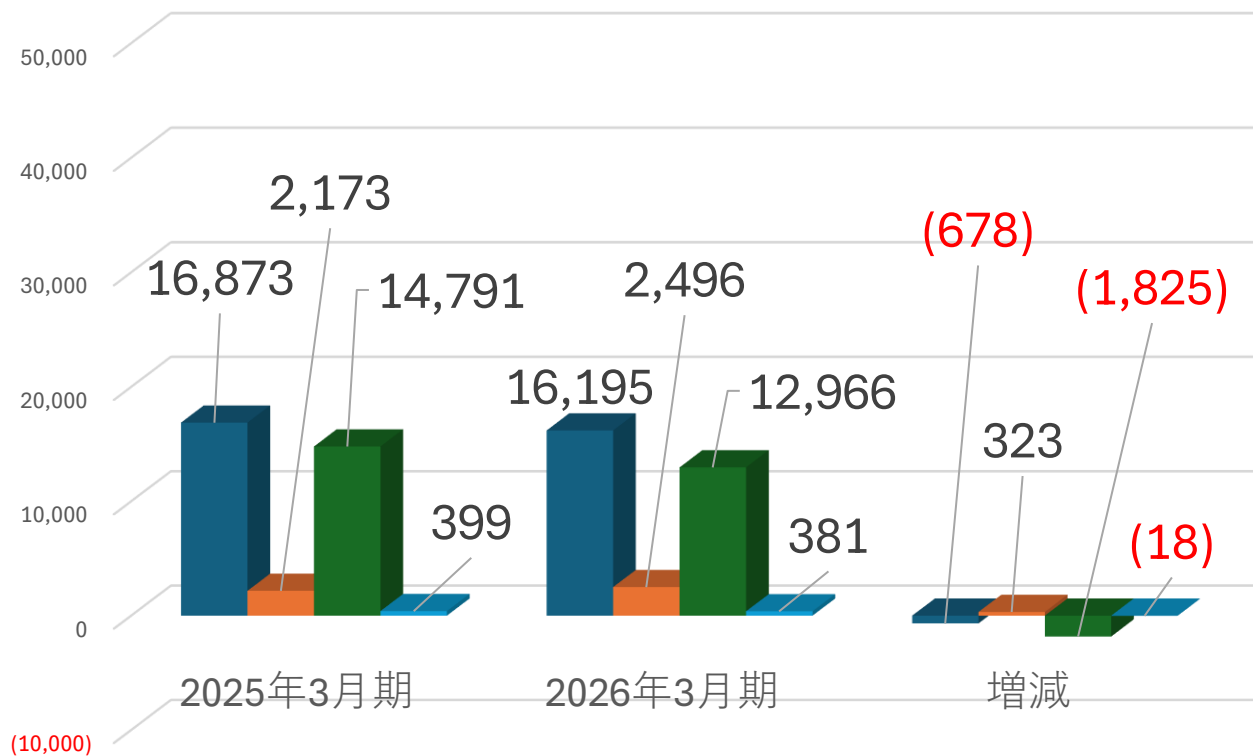
- ◆自動車内装材は中国での日系自動車メーカーの減産影響被るも当社採用車種は一時的に伸長。

■ 国内売上高 ■ 北米売上高 ■ アジア売上高 ■ 欧州売上高

地域別・事業別売上高

地域別事業売上高増減（生活）

単位：百万円



■ 国内売上高 ■ 北米売上高 ■ アジア売上高 ■ 欧州売上高

国内売上高（前年比▲4.0%）

- ◆コンドームはインバウンドの減少
- ◆除湿剤は梅雨明け早まり減少
- ◆カイロは新規取引があり増加

北米売上高（+14.9%）

- ◆コンドームは堅調に推移し増加

アジア売上高（▲12.3%）

- ◆コンドームは中国景気低迷影響により減少

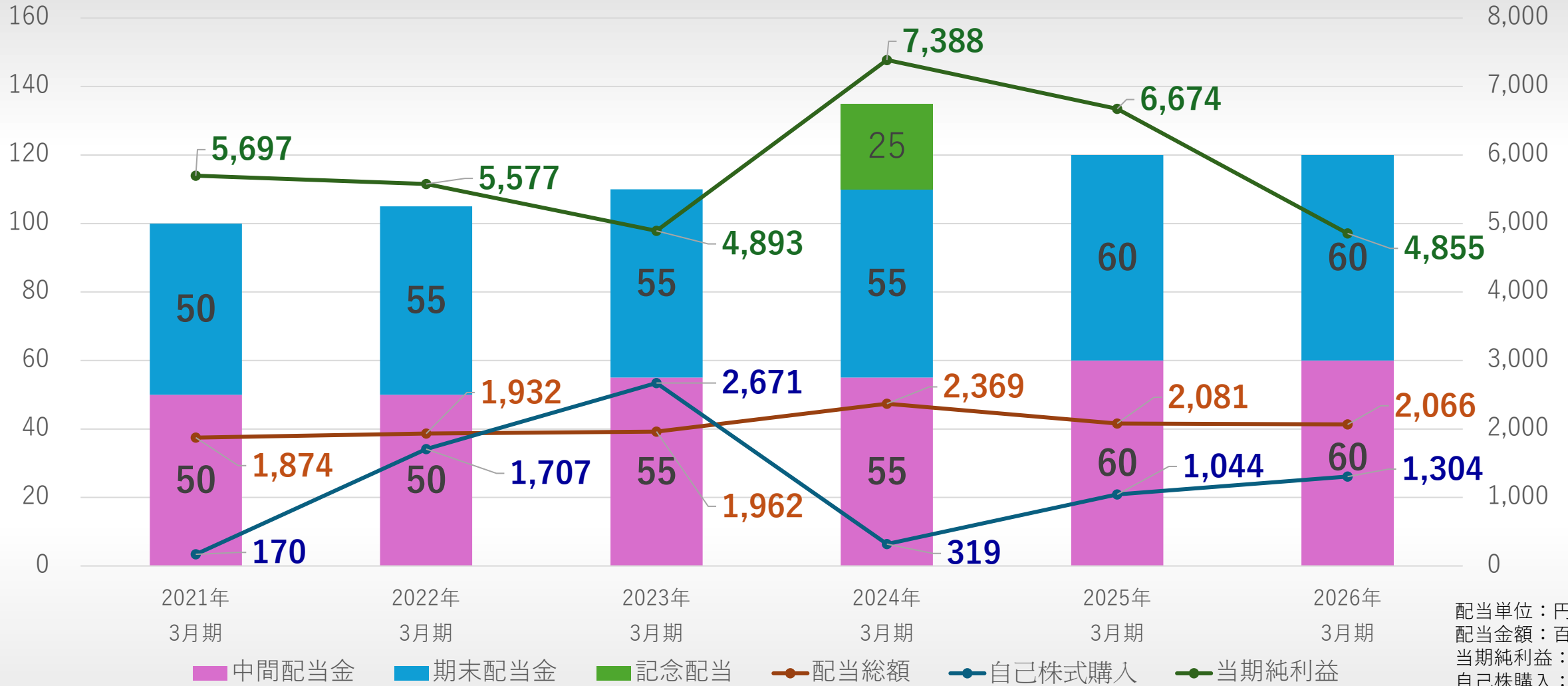
欧州売上高（▲4.5%）

- ◆コンドームは需要減少

- 1 : 2026年3月期 決算概要
- 2 : セグメント別概況
- 3 : **株主還元**
- 4 : キャピタルアロケーション
- 5 : 対処すべき課題
- 6 : 2027年3月期 業績予想
- 7 : 質疑応答

株主還元の推移

記念配当を除き漸増（累積配当）



配当単位：円
 配当金額：百万円
 当期純利益：百万円
 自己株購入：百万円

配当性向	32.9%	34.8%	40.6%	32.1%	31.3%	42.4%
総還元性向	35.9%	65.3%	94.7%	36.4%	46.8%	69.1%

- 1 : 2026年3月期 決算概要
- 2 : セグメント別概況
- 3 : 株主還元
- 4 : キャピタルアロケーション**
- 5 : 対処すべき課題
- 6 : 2027年3月期 業績予想
- 7 : 質疑応答

キャピタルアロケーション

キャッシュイン
営業CF
投資CF
財務CF



キャッシュアウト(百万円)	2027年3月期 (予定)	2026年3月期 (実績)
配当実施	2,051	2,051
自己株式取得	※ 982	1,304
成長投資 (設備投資)	4,991	7,467
計	8,024	10,823

※2025年11月7日開催の取締役会の決議内容 (190,000株/10億円) による2026年4月30日時点の未消化の額。

設備投資の内訳	予定	実績
当社	3,920	6,122
子会社	1,071	1,345
計	4,991	7,467

- 1 : 2026年3月期 決算概要
- 2 : セグメント別概況
- 3 : 株主還元
- 4 : キャピタルアロケーション
- 5 : 対処すべき課題**
- 6 : 2027年3月期 業績予想
- 7 : 質疑応答

事業環境

中東情勢による原材料の安定調達懸念とリスク増加

資源高と物価上昇による市況悪化と需要への下押し圧力

中国経済減速と地政学リスクによる世界環境の不確実性継続

国内景気は緩やかな回復基調も需要の力強さに欠ける状況

対処すべき課題（抜粋）

対処方針等

安定供給を軸とした事業基盤の最適化

不透明な国際情勢下でも製品の顧客への安定供給を最優先とした体制構築

調達リスクへの対応力整備

原材料の安定確保に向けた調達先との関係体制の強化及び新たな調達先確保

技術活用による生産・業務改革

デジタル化・自動化・AI技術の活用による効率向上化

環境配慮・資源循環への対応

環境配慮製品開発やリサイクル活用、脱炭素・廃棄物削減などへの取り組み強化

成長戦略と経営基盤の強化

成長領域重点投資とガバナンス・リスク管理充実により企業価値最大化

今期の見通し

国内・海外各工場への設備投資の継続

岡山新工場・倉庫の稼働（2026年度内）

- 1 : 2026年3月期 決算概要
- 2 : セグメント別概況
- 3 : 株主還元
- 4 : キャピタルアロケーション
- 5 : 対処すべき課題
- 6 : 2027年3月期 業績予想**
- 7 : 質疑応答

業績予想

単位：百万円	2027年3月期 (通期予想)	2026年3月期 (通期実績)	増減	増減率
売上高	114,000	108,040	5,959	5.5%
営業利益	6,000	6,248	△248	△4.0%
経常利益	7,600	8,595	△995	△11.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,800	4,855	△55	△1.1%
1株当たり当期純利益	279.62	282.84	△3.22	

【算定の前提】

想定為替レート：150円/米ドル

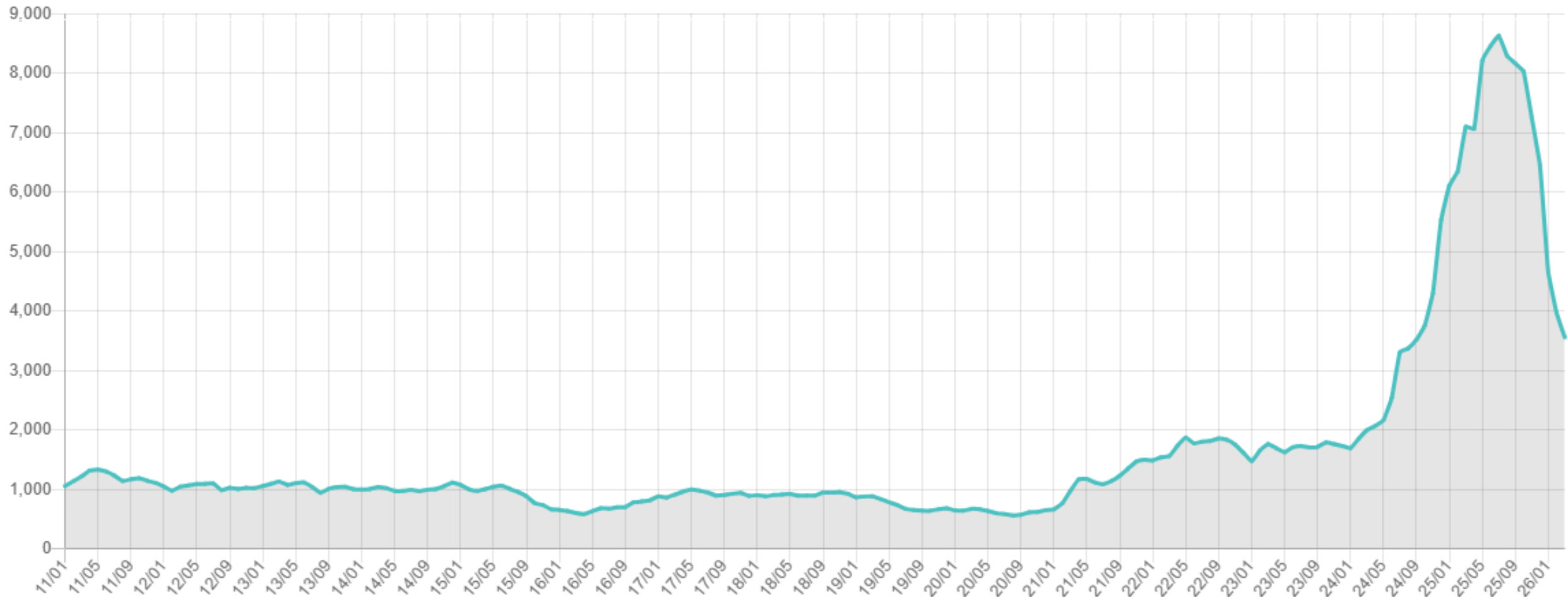
【業績予想に考慮していない事項】

中東情勢に悪化による更なる原材料高騰

- 1 : 2026年3月期 決算概要
- 2 : セグメント別概況
- 3 : 株主還元
- 4 : キャピタルアロケーション
- 5 : 対処すべき課題
- 6 : 2027年3月期 業績予想
- 7 : 質疑応答**

質疑応答

(ご参考) アンチモン輸入CIF価格推移



ご多用中にもかかわらず
ご出席いただき、
ありがとうございました。